



# せんだん

## 学校教育目標

「進んで学び、心やさしく、たくましい児童の育成」  
No.16 令和5年12月5日 校長 松本 成浩

## 藤山雷太翁肖像画の披露式を行いました

藤山雷太翁と言えば、皆様ご存知のとおり、大里出身の実業家、国会議員であり、一代で日本を代表する財閥を築いた郷土の偉人です。この度、大里区の皆様のご厚意により、藤山雷太翁の肖像画を寄贈いただくこととなり、そのお披露目の式を執り行ったところです。当日は、市教育長様、大里区長様、そして藤山家の親族代表の原田様他ご出席の下、肖像画の披露を行い、雷太翁の経歴や活躍等について、大里区の力武様に詳しくお話していただきました。上級生の中には、名前を聞いたことがある子はいたようですが、どのような人物であったのかについては初めて聞く子が多いようで、熱心に耳を傾けていました。子供たちには、雷太翁のように大きな志を持ち、それをやり遂げようとする強い信念を持って欲しいと話したところです。また、この肖像画は、日本を代表する熊岡画伯が描かれており、芸術的価値も高いとのことで市の文化財としての指定も受けています。学校の会議室に展示していますので、地域の皆様、是非、ご来校いただき、ご覧ください。



田代大里区長様のあいさつ



教育長、児童代表と除幕しました



力武様 雷太翁に関する講話

### 熊岡画伯（熊岡美彦）

藤山雷太翁の肖像画を描いた熊岡美彦は、知る人ぞ知る、日本を代表する有名な洋画家です。茨城県出身で、東京美術学校を卒業後、第1回帝展で特選を、第6回帝展では「緑衣」で帝国美術院賞を受賞しています。この緑衣のモデルが三井財閥の関係者ではないかと言われており、三井家と親しかった藤山雷太の肖像画も、そのようなつながりの中で描くことになったのではないかとされているそうです。帝展委員を務めた他、熊岡洋画家研究所を設立して後進を育成したり、仲間の画家とともに東光会を結成したりしました。まさに、大正、昭和の日本洋画画壇における第一人者です。

### 育友会バザー大盛況

12月3日は日曜参観と育友会バザーを開催しました。多くの保護者、地域の皆様に来校いただき、学校の様子をご覧いただくとともにバザーに協力していただきました。昨年までの品物に加え、本年度はお昼ご飯を兼ねたお弁当類の注文も受けており、多くの方に利用していただきました。ありがとうございます。私も、お弁当やふたさよもぎ餅をおいしくいただきました。計画から、品物の注文と準備、販売のお世話などをしていただきました育友会本部役員様、学級役員の皆様に改めて感謝申し上げます。お陰様でたくさんの収益金が出ていますので、子供たちにしっかりと還元したいと思います。



体育館 物品バザー



1階ホールも賑わっていました